

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 森谷公昭

答弁を求める者
(○をつける)

○市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

1 職員をケアできる職場環境について

職員個々のケアをすることで自死を撲滅したり、悩みを気軽に相談できる職場環境、職員の変調等を発見できる職場環境が真剣に検討されたかの観点で次のことを伺う。

(1) 市長とのカレーミーティングについて

① 強制しないように配慮する、ということだったが、実際に、断る職員さんはい
るのか伺う。

(2) 職員の残業について

自死された方の直前の勤務は、ロードマップ作りなどで毎日のように遅くまでさ
れていたと聞いた。人事課の話だと、残業時間は、課全体で 50 時間前後という
ことだが、つじつまが合わない。

① サービス残業の強制、又は、せざるを得ない状況があったのではないかと伺う。

② パソコンへの退勤入力の日数とその後のデータ操作履歴を照らし合わせれば事
実が確認できるので、そのチェックをし、事実を一つ一つ増やして責任の内容
を明確にすることが大切だと思うが、実行できるか伺う。

③ サービス残業を防止するためのシステムはあるのか伺う。

(3) 市の対応について

前回、久保田市長が「上司、職場がカバーできなくて申し訳ない」と責任を認め
られた。一方で、牛尾部長が、「厚労省の指示に沿っている」と答弁があった。

① 浜田市が責任を認めて、労災申請を進めているのか伺う。

② 平成 18 年の自死の件を反省し相談体制を作ったが、全く機能せず、繰り返して
しまった。その反省をもとに何をされたのか伺う。

2 固定資産台帳の作成、発生主義会計、複式簿記の導入について

(1) 固定資産台帳の整備、データ化について

浜田市が採用している総務省方式改定モデルから作られる財務 4 表は利用価値
の無いものだ。また、総務省は、発生主義複式簿記を強制することを決断した。
それを取り入れる前提に、「固定資産台帳の整備、データ化」が必要となる。

- ① 浜田市は整備してあるのか伺う。
- ② してないのなら、いつ完成するのか伺う。
- ③ 固定資産台帳は何のために必要だと考えるか伺う。

(2) 新しい発生主義複式簿記会計における仕訳について

新しい発生主義複式簿記会計を取り入れるに際し、「セグメント（部、課）単位で仕訳することになる（財務調査課、原課長）。仕訳は、当然日々仕訳（新藤総務大臣）。」と聞いている。

- ① 一般に東京都方式、新総務省方式の二つの方式が上がっているが、どちらを選択するのか伺う。
- ② その理由は何か伺う。
- ③ 日々仕訳、一括仕訳は、どちらを選択するのか伺う。

3 市営住宅・一般住宅の駐車場管理について

「市道に駐車、敷地内道路に駐車、敷地内のラインの引いていないところに駐車等の迷惑駐車、追加料金の発生の有無」に浜田市は関心が薄い。民間に近づけると言いながら、その他の団地で、ライン内に約 60 台、ライン外に約 30 台駐車している。

- ① ライン外の車や近い人が遠くに停めるよう決められていることの調整は不要なのか伺う。
- ② 民間に近づけると言いながら、1 台持っている人、2 台 3 台持っている人との料金は公平かどうか考えを伺う。
- ③ 市役所職員の駐車場は、弥栄でも殿町でも 1000 円/月である。そのことに合理性があるなら、公営住宅・一般住宅について基準がバラバラというのは、考えに統一性が無いように思うが見解を伺う。

4 まちづくりについて

(1) 公民館、自治会、町内会の役割について

公民館、自治会、町内会がある。また、「まちづくり」という 12000 万円の財源を持つ単位がある。先日も、「まちづくりの金があるので、その金で、今から昼食会があるんだ」と言われた。

- ① 同じ町内でも 3 町内は自治会があったり、2 町内は無かったりでルールがわかりにくい。公民館、自治会、町内会は、それぞれ何を目的としているのか伺う。
- ② 公民館、自治会、町内会に浜田市からの補助はあるのか伺う。
- ③ まちづくりは、くくられた地域の住民（町内会に入っている人、いない人、学生、単身赴任者、店、会社）すべてを含むのか、限定するのか、考えを伺う。
- ④ ごみステーション一つにしても、「町内会」の負担なのか、「まちづくり」の負担なのか、今と昔で違うのか、良くわからない。どうなっているのか伺う。

5 ごみ問題について

(1) ごみ袋の削減中止について

5 種類のごみ袋を 1 種類にし、袋に印刷された 5 つの区分に印をつけて出すという方向で検討されていたと思うが、環境清掃対策審議会で「複雑であるが今の方法

に慣れたので、変更するのは面倒だ」という理由で中止された。審査会のメンバーは、意見を聞くのには偏りすぎだと思う。

- ① 20代、30代、男、女、学生、通勤族等への直接のヒアリング（アンケート記入ではない）も必要ではないかと思うが、考えを伺う。
- ② 浜田市のHPにfacebook、twitter、LINE等を使えば、本人からの情報が入り、コストはかからない。なぜ利用しないのか伺う。
- ③ Uターン、Iターン、里帰り出産、通勤族に浜田のごみ収集について聞くと「分別が多すぎる」「袋の数が多すぎる」「他は、ゴミ袋が1種類でどんな袋で捨てても良い」「浜田では家を建てたくない」という声がある。エコクリーンセンターは、プラスチックも金属も燃やすことができ、熱は発電、金属は売却可能で、分別を簡単にできる能力がある。なぜ、能力を生かし、分別を簡単にしようとししないのか伺う。

(2) パッカー車の洗浄水について

ゴミの車（パッカー車）の洗浄水がそのまま、川に流れている。下水道、浄化槽を作って汚染を防止しようとしている中で、市がかかわっている以上悪い見本を示すべきではない。パッカー車の洗浄を工夫し、汚染水が出ないようにすべきではないか、考えを伺う。

6 アンケートについて

(1) SNSの活用について

市民の声を直接聞く事は重要なことだと思う。アンケートを郵送しても若い方からは2割しか回答がない時もある。また、若い方は殆ど、携帯、タブレットを持っている。

- ① 県税の徴収率日本1位の要因は、インターネット納付だと言っていた。インターネットを利用しない行政は取り残される時代である。浜田市のHPを利用し、facebook、twitter、LINE等を使って、若い人たちの意見、考えを聞くのに、これらのツールを使わない手はない。なぜ、浜田市だけが利用していないのか、今後の予定も含めて考えを伺う。

7 市長の公文書について

(1) 公文書の内容について

「さまざまな強要がある」ということで、市長が私と議長に公文書を出した。職員の自死も私の責任であるかのような内容であった。その強要などの事実確認をしないまま、江角議員と笹田議員がネットで公開し、未確認情報をさも真実のように浜田市民が受け取るようになった。政治倫理審査会でその原因や真偽を確認しようとしたが、「市長からは具体的事例（詳しい事実確認が出来るもの）の提示がなかった」と報告があった。

- ① なぜ公文書の内容の証拠を出さないのか伺う。

8 資金・資産の有効活用について（民間、公共を区別しないで）

(1) 預金と借入れの関係について

預金がありながら借入をするのは、利息の無駄である。

- ① 返済しなければならない借入金はいくらあるか伺う。
- ② その利率の範囲はどのようなものか伺う。
- ③ 預金はいくらあるのか伺う。
- ④ 返済して利息を減らすことは可能か伺う。

(2) 県立大学、廃校、民間企業の資産の共同利用について

- ① 体育館、トラック、グラウンド、校庭等 利用していないところや余裕があるところがある一方で、施設や場所がなくて探している団体もある。情報を共有して、有効利用ができるよう所有者の垣根を越えて進めることは可能か伺う。

(3) 工業用水道、土地開発公社の資金活用について

浜田市工業用水道、土地開発公社には数億円の預金がある。一方で、借入金のあるところもある。

- ① これらの出資者は浜田市なので、配当することにより、一般会計に資金を流すことはできないか伺う。
- ② ①が可能なら、その資金を一般会計の予算として支出することは可能か伺う。

9 自治区予算について

(1) 基金及び投資的経費について

合併時に自治区が持っていた資金（多いところは 20 億円）は、自主財源が多いとは思えないが、実際には貯まっていた。

- ① どのような流れで蓄えられたものなのか伺う。
- ② 合併から 8 年たっているが自治区によっては約 10 億円残っているようだが、なぜ、自治区住民のサービスに使ってないのか。本庁がブレーキをかけているからではないのか、見解を伺う。
- ③ 投資的経費も各自治区年間 5 億円以上あるが使い切っていないのは、本庁がブレーキをかけているのではないのか、見解を伺う。

10 人件費、物件費について

(1) 総務省報告基準について

- ① 総務省報告基準の人件費、物件費は、誤解を招く。嘱託、臨時、正職員の人件数合計と支払う給与の合計額が、いわゆる人件費だ。平成 19 年、21 年、25 年の実績を伺う。

11 水道料金について

(1) 値上げ抑制のための方策について

水道料金は、平均が 2600 円/月（20 t）県内では 5000 円のところも 2 市ある。

その水質と便利さを説明すれば、赤字にならない程度の値上げなら賛成してもらえるのではないか。あまりにも値上げをすまいと、大切な人材を減らすほうが損失

だと思ふ。

- ① 人件費を削減してでも値上げを最少に抑えると聞いたのでやりすぎは逆効果だと思ふが見解を伺ふ。

12 視察、研修の共有化について

(1) 報告書の公開について

- ① 職員も議員も研修、視察をしている。それが、その部署で仕舞い込まれている。共有化して、心ある職員、議員は閲覧したり、録音を聞いたり、映像を見たりできるようにになれば、職員、議員の質の向上に資するものだと思ふ。

中央図書館の開架で一般市民までも閲覧できるようにする一方で、HPにもアップして、誰でも見ることができるようにすることは可能かどうか伺ふ。